



第1回 内川まちの未来会議報告書

「未来へつなぎたい内川の風景」

■射水内川のリノベーションまちづくり

内川リビングトーク
vol.1
2025年2月



内川リビングトーク
vol.2
2025年3月



内川リビングトーク
vol.3
2025年10月



事前講演会
vol.1
2025年8月



事前講演会
vol.2
2026年1月



第1回
リノベーションスクール
2026年3月



■射水内川のリノベーションまちづくり

内川
トークサロン
vol.1



2026.2
内川
トークサロン
vol.2

内川
トークサロン
vol.3

2026.6
シンポジウム



2026.7~
内川まちの未来会議





まちの魅力を受け継ぐために
今あるまちの魅力を丁寧に振り返り起こしましょう！

#内川沿いに見える立山連峰
#水面がすぐそこに
#軒先にゆらゆら映る水面
#まがった道・階段
#遠くに聞こえるトンビの鳴き声
#聴みえる生活の音
#ゆっくり流れる時間

禁煙



水が暮らしのそばに

海の近さ	水との距離	柵のない川沿い
海が生活のペースにある	川と海の間	内川沿いに出入口がある
内川の水が あふれない 不思議	内川の 水面の高さ	お店で川を 見るチルさ

水面のゆらめき

水面がキラキラときらめく	日々変化する水面
水面なのにゆらぎはあるけどおだやかにゆれている	川の風景おだやか
水面の風の通り道（跡）	水面に逆さに映る景色

漁師の暮らしが感じられる

漁師の生活が感じられる	内川は、漁船と家賃・生活が一体化している	漁員が町並みのひとつに
ガラスのうき	漁船の白と青浮の黄色	舟の行き交い風情
船がない（ストロークがあった！）まきもたいては通	川沿いに並ぶ漁船	船の緑色と白色のコントラスト
内川沿いで魚が釣れる	ハゼ釣りの楽しみ	宵は魚釣りができたが今はナン

港町に暮らす生き物たち

小さな食物連鎖	ウミネコやトンビなどトリが多い	水鳥の橋くぐり
カモメサギがふつうにいる	う（鵜）の潜水かもめのよこどり	魚がおよぐの見える
ネコが多い	ネコが自由に歩く	日なたぼっこしてる猫
ルリちゃんの散歩道	気まぐれな貴果勝	

射水を囲む自然 人工的ではない景色

水面と舟と雪山と	内川が海岸線と平行に流れている	飛行機雲が広い視野でみれる
海と川と雪のかぶった立山連峰	人工的ではない景色	空と水辺
遠くの煙突と二上山	川沿いの桜	見通せない川
屋根の連なりと山の連なり	カーブした曲線川	

目に見えない空気感・味わいを五感で感じられる

うるおい

音、におい風情、情緒ある	川の水が岸を打つ「ちゃぶちゃぶ」という音	夏の夕方に感じる潮のにおい	場所場所のにおい空気
船のエンジン音	帰ってくる船の音（明け方）	海と漁船のにおい	やわらかいパンとその香り
遠くから来る川沿いの心がおちつく民謡、船のエンジン音	風・鳥・舟の音	オレンジ味のいい香り	家からする夕飯の香り
ゆったりした時間の流れ	静かに時間が流れる	ハレとケ	雨の日、シブくてカッコいい

時間帯によって表情が変わる

朝日登る立山	二上山の夕景	照明に食わずに星と月がみえる
夜のあかりが色っぽい	オレンジ色の外灯	今も残っているレトロなスポットの光
点々つづく外灯	夕方の空の色と内川の暗いピタリ	夜中ににぎやかな内川
夜の明かりが幻想的	車も歩道も残ってまで橋にまでい（日本橋）	

背戸にしみ出す暮らしぶり

住民の川沿いを利用した生活	沿岸漁業、物干しざおなど、家庭で（人の営みがわかる風景）
物干しざお	川沿いの小さい公園
橋のふもとに置かれていて「背でてくたさい」の語	ベンチが少なかな？

人のいとなみが身近に感じられる

夏の夜、支那を開け、涼しにしている家	生活感が露骨に感じられる
人々の営みを遠慮なく感じられる	しずけさと人の気配

居心地のいいご近所づきあい

人の距離感の近さが良い	マンション暮らしにはない人付き合いがある	半径100mぐらいの名字がわかる
顔合わせたらあいさつ	深い人間関係	たくさんの顔みしり
居心地のよい静けさ	自分のペースと距離感で	

まちなみ

サビだけのトタン板	ミルフィーユ屋根なみ	げんかんの連なり	電柱とか標識とかない
川や水路が道路化されてまっすぐでない道	路地の趣きがある	石たたみの道	雪の道
細い家	昭和レトロ	レストラン「世界屋」外装のトタンのサビ	きつと動かないレトロ自販機
カラフルな家がいない、黒っぽいまちなみ	屋根瓦が黒い	隅切街区	背戸のような表
歴史を感じられる家やそのまちなみ	1000年以上の歴史が自然体で残っている	歴史が作ってきたまちなみ+それに増えている新しい店	古い家々の中に新しいお店
町のめっちゃ熱いせんとう忠	路地、屋根と屋根の間の空	雰囲気のあるいるんな建物があ	暑くとも自分の居場所があるガラス、扉、...
橋ごとに見える山々が異なる	低い橋→山々がよく見える	万葉集がおちちゃやぶにみえる	50年前と内川の川沿い

暮らしに溶けこむ 寺社仏閣・おんぞはん

目立ち過ぎない神社仏閣	内川の近くに神社・仏閣が多い
おんぞはんのほこらの数	お地蔵さん100いくつあります番号ふられてる

住民から挙がった暮らしの課題

外国人とのトラブル	大きなBBQ気になる
住居がなくて、新しい家が建って、高齢者が	内川の舗装が劣化している
空き家・空き地が多い	もっと子供の声が聞こえる町にしたい

暮らしを支える生活商店

神戸屋肉屋	昔ながらのスタイルで中々置換している商店街のお店
身近な食事どころ	みなとやのおばちゃん
かけ中	カフェ六角堂周辺の水辺
食べ物が店増えればよい	シーズンでちがうやつよしのかけ中

まちへの愛着と誇り 人情あふれる人々

まちの歴史を聞ける機会と考える人々	新築を誇りたいと考える人々	新築への愛着と誇り
もっと地域の大人のから新築の歴史をきける機会がほしい	ゴミが落ちていないもともとのまちがきれい	いまのままで残って欲しい
人情	おもしろい人	ジジババ社会
言葉が独特	日本一ベンチコな前字が多い	地元に住んでほしい

普段は静か 祭は情熱

5月になると聞こえてくるおのまつりの観音の音	ふだんは静か 祭りは情熱
度山まつりの次の日の道端にある白い糸	ひき山の蔵宝探してみたい
いるんなイベントがある	内川万灯（7月末）
東横のたもとで行われる春風ジャズライブ	春のおしし秋の曳山

歩きたくなる

お散歩してるおばあちゃん	犬の散歩コース	食べ歩きが楽しい
なんでもなくぶらりと歩きたくなる道	ゆらぎを覚ながらアツアツとどん歩きたくなる	川沿いを歩くごとに、変わる山々と家並み
気楽に歩ける川沿い	人中心のまち	

訪れたくなる

川の駅観光バス高山湾一壺	観光船に手をふってくれるまちの人たち	内川に暮らす子供達の思い出がよみがえる
遊覧船が通る	Notオーバーツーリズム静か	昔はロシア人多かったが、現在は観光客がいない
内川の遊覧船土日客多い曳山	滞頓していないため、川の静けさを満喫できる	

内川まちの未来会議の趣旨

なぜ「情景条例」なのか

内川の「情景」は、誰かが意図してつくったものではなく、長い年月の中で日々の暮らしや生業が積み重なって受け継がれてきた「奇跡」のような風景です。条例に挑戦することは「形」だけに捉われるのではなく、その原点となる内川らしい「暮らし」や「なりわい」に目を向けることを意味します。

第1回 テーマ

「未来へつなぎたい 内川の風景を見つけよう」

全3回の対話を通じ、住民自らが「自分たちの手でまちを作っていく」プロセスを大切にしています。

内川まちの未来会議

～残したい風景を未来へつなぐために、できることを考える～

第1回 7/13 月
14:00～16:00・18:30～20:30
内容は同一ですので、日中・夕方いずれかにご参加ください。
未来へつなぎたい
内川の風景を見つけよう

第2回 8/19 水
14:00～16:00・18:30～20:30
内容は同一ですので、日中・夕方いずれかにご参加ください。
その風景をつくっている
内川らしさって何だろう？

第3回 10/6 火
14:00～16:00・18:30～20:30
内容は同一ですので、日中・夕方いずれかにご参加ください。
未来へつなぐために
できることを考えよう

会場 (全3回)
クロスベイ新渡 2階 ICNホール
射水市本町二丁目10番30号

参加費 無料
全3回

詳細は裏面を
チェック！▶

主催：射水市
企画運営：株式会社リノベリング

射水・内川の景色を編み出す「文化・生活・生業」の曼荼羅（マインドマップ） イメージ図



暮らしに溶け込む寺社仏閣と「おんぞはん」

100以上の番号がついた「おんぞはん」が存在



獅子舞文化の厚み

獅子舞だけで30-50集まる圧倒的な獅子舞文化

信仰と祭り

祭りの情熱と日常の静寂
春のおしし、秋の曳山。



山・海・川が織りなす情景

晴れた日の立山連峰や二上山と、内川のカーブが生む変化の景色。

自然景観と時間の移ろい



時間帯で表情を変える水辺

朝日の登る立山、美しい夕焼け
夜のオレンジ色の照明の反射。



湊町に暮らす生き物たち

水鳥や日向ぼっこをする姿が人工的ではない自然な景色を作る



内川の景色

水辺の生業（漁業と橋）



漁船と家庭が一体化した景観

青や白、緑の漁船が停泊し、生活と海が密接に結びつく



音と匂いで感じる猟師町



明け方のエンジン音、水の「ちゃぶちゃぶ」音、潮の香り。

生活の営みとコミュニティ



路地にしみ出す暮らしっぷり

物干し竿や家の前の植栽がまちの景観となる。



「人の距離」の近さが生む安心感

半径100m以内の苗字がわかり挨拶が交わされる濃密な付き合い



街を支える商店と味の記憶

昔ながらの商店、餅屋、オランダ焼。
彼らが生活の原点に



かけ中

当日の進め方

01



個人ワーク (10分)

暮らしの中で感じた
射水・内川の魅力や個性を
付箋紙に書き出しましょう。
めざせ50個！

02



グループワーク (30分) *2回

個人ワークで書いた内容を
グループで共有し合ったり、
内容をまとめてみましょう。

03

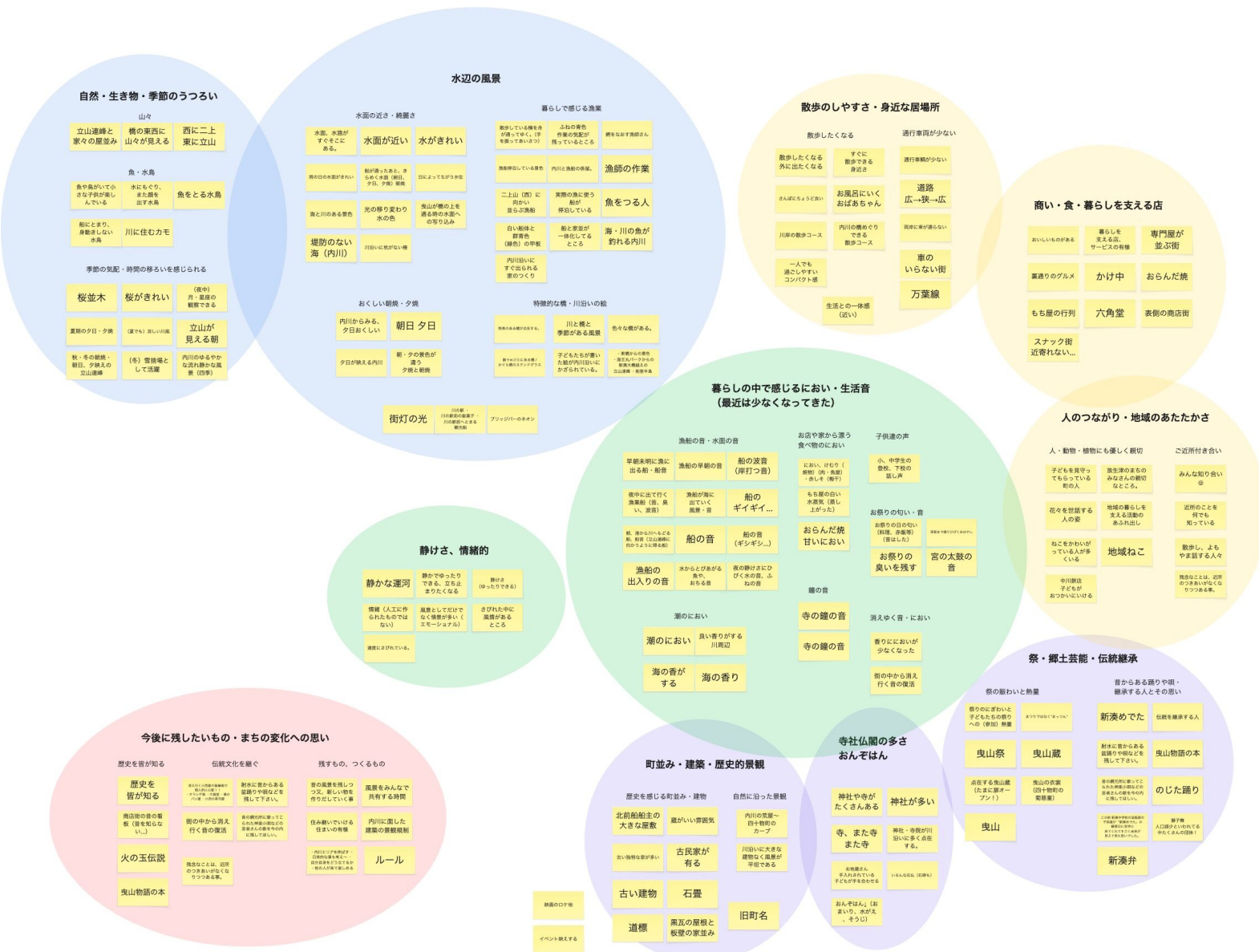


全体発表！ (15分)

グループで話し合った内容を
全体で共有しましょう！



内川の情景を未来へつなぐためのルールを設ける。それによって、このまちの暮らし方を尊重してくれる新たな仲間を呼び込み、地域の活力を維持していくこと。これこそが、今住んでいらっしゃる住民の皆様の暮らしを守り、次の世代へ引き継いでいくための重要な選択肢であると、私たちは考えております。



水辺の風景

水面、水路が すぐそこ にある。	水面が近い	水がきれい	散歩している横を舟 が通ってゆく。(手 を振ってあいさつ)	ふねの青色 作業の気配が 残っているところ	網をなおす漁師さん	内川の水面のきらきら	安全柵などのない水辺	川沿いの街灯
漁師の作業	反射した水のきらめき	川辺の外灯の配置	街灯のついた 内川の景色	親子で釣り	内川沿いに 置いてある 漁の道具	海と川のある景色	光の移り変わり 水の色	曳山が橋の上を 通る時の水面へ の写り込み
海・川の魚が 釣れる内川	徒歩2分で内川も 海も見に行ける こと	山王橋から見る 立山の景色	川にかかるいるいな橋	新西橋から 見える 立山連峰	神楽橋のステンドグラス デザイン 絵画	漁船のある風景	まちの風景の 一部に なっている漁具	堤防のない 海（内川）
さびた丸いやつ	内川にかかる13基の橋梁。	橋をくぐる万葉丸	橋の下のドキドキ	ステンドグラスと おばちゃん	大型船が 係留された風景	放生津は富山一の港	内川からみる、 夕日おもしろい	朝日 夕日
子どもたちが書いた絵が内川沿いにかざられている。	・東橋からの景色 ・海王丸パークからの 新湊大橋越えの 立山連峰・能登半島	内川に住む野良猫	たまに見かける野良猫	可愛い野良猫	街灯の光	川の駅・ 川の駅前の駄菓子・ 川の駅前へとまる 観光船	ブリッジパーのネオン	漁師さんが 作業している 風景
朝早く漁に 出ていく 漁船の焚き火	雨の日の水面がきれい	船が通ったあと、きらめく水面（朝日、夕日、夕焼）朝焼	日によってちがう水位	漁船停泊している景色	内川と漁船の係留。	内川沿いのベンチ	実際の漁に使う 船が 停泊している	魚をつる人
徒歩圏内の 川と海	漁船のけい 留様子 運航の音響	海が近くて 川にとまる漁船	白い船体と 群青色 （緑色）の甲板	船と家並が 一体化して るところ	二上山（西）に 向かい 並ぶ漁船	内川沿いに すぐ出られる 家のつくり	内川の水の流れ 、及び清潔さを 維持する	お助け橋から見る海
たくさんの橋	東橋	お助け橋	漁船（イカ釣、帰船）	川沿いに杭がない柵	川と橋と 季節がある風景	色々な橋がある。	ウミネコ（鳥）と漁船	内川は海とつながっている ので 釣れる魚が多い
夕日が映える内川	朝・夕の景色が 違う 夕焼と朝焼	数十mごとにある橋 / かぐら橋のステンドグラス	特長のある橋が点在する。					

町並み・建築景観

北前船船主の
大きな屋敷

蔵がいい雰囲気

内川の荒屋～
四十物町の
カーブ

黒々とした北陸
らしい瓦屋根の
街並み

レトロ感があり
ながらもリノベ
された長屋

古民家が
有る

川沿いに大きな
建物なく風景が
平坦である

黒瓦の家並

電柱のない風景

色んな交流が
生まれるのはよいが
建物や風景が変わるのは
良く思えない。

建物の色合い

石畳

細くて
使いづらい道

道標

黒瓦の屋根と
板壁の家並み

内川の街の
年輪がいい

古い独特な家が多い

古い建物

石畳

旧町名

今後に残したいもの・まちの変化への思い

歴史を皆が知る

歴史を
皆が知る

商店街の昔の看板
(昔を知らない...)

火の玉伝説

曳山物語の本

伝統文化を継ぐ

消え行く小売屋の後継者が
個人的に心配!!
・オランダ焼・大福堂・湊の
パン屋・小売の寿司屋

街の中から消え
行く音の復活

残念なことは、近所
のつきあいがなくな
りつつある事。

射水に昔からある
盆踊りや唄などを
残して下さい。

昔の網元所に歌ってこ
られた神楽小唄などの
芸者さんの歌を今の内
に残してほしい。

残すもの、つくるもの

昔の風景を残しつ
つ又、新しい物を作
りだしていく事

住み継いでいける
住まいの有様

・内川エリアを伸ばす・
日常的な事も考え〜・
自分自身をどう立てるか
・他の人が来て楽しめる

風景をみんなで
共有する時間

内川に面した
建築の景観規制

ルール

散歩のしやすさ・身近な居場所

散歩したくなる
外に出たくなる

すぐに
散歩できる
身近さ

通行車両が少ない

ずっと歩いて
いたくなる水辺

ストレスの
感じない内川の
雰囲気

都会で
感じられない
謎の安心感

道路
広→狭→広

ガヤガヤしてなくて楽

ストレスを
感じない
静けさ

内川の
ゆったりした
雰囲気

川岸の散歩コース

内川の橋めぐり
できる
散歩コース

流れのない内川
時間がとまって

夕ぐれの内川
昭和の雰囲気

一人でも
過ごしやすい
コンパクト感

車の
いない街

絶妙な夜のうすぐらさ

路地から見える景色

万葉線

さんぽにちょうど良い

お風呂にいく
おばあちゃん

両岸に車が通らない

内川を歩くとや
さしい感じにつ
つまれる

木造りの（板）散歩道

生活との一体感
（近い）

商い・食・暮らしを支える店

おいしいものがある

暮らしを支える店、
サービスの有様

専門屋が
並ぶ街

おいしい店
たくさん

みなとの揚げパ
ン・焼きそば・
ポテト

神戸屋さんの
コロッケ

裏通りのグルメ

かけ中

おらんだ焼

お好み焼

カフェ

中川餅店の
きなこ団子

もち屋の行列

六角堂

表側の商店街

番屋カフェの建物

場末の
スナックとママ

魚がおいしい

スナック街
近寄れない...

わかきの焼肉

ブリッジバー

BRIDGE
BAR

かけ中

祭・郷土芸能・伝統継承

祭の賑わいと熱量

祭りのにぎわいと
子どもたちの祭り
への（参加）熱量

まつりではなく"まっつん"

曳山祭

曳山蔵

点在する曳山蔵
（たまに扉オー
プン！）

曳山の衣裳
（四十物町の
菊慈童）

曳山

昔からある踊りや唄・ 継承する人とその思い

新湊めでた

伝統を継承する人

射水に昔からある
盆踊りや唄などを
残して下さい。

曳山物語の本

昔の網元所に歌ってこ
られた神楽小唄などの
芸者さんの歌を今の内
に残してほしい。

のじた踊り

この前 新湊中学校の芸能部
の子ども達が「新湊めでた」の
練習日に見学に
来てくれてすごく未来が
見えて来た思い出でした。

獅子舞
人口減少といわれてる
中たくさんの団体！

新湊弁

暮らしの中で感じるにおい・生活音 (最近は少なくなってきた)

漁船の音・水面の音

早朝未明に漁に出る船・船音

漁船の早朝の音

船の波音
(岸打つ音)

夜中に出て行く
漁業船(音、臭い、波音)

漁船が海に出ていく
風景・音

船の
ギイギイ...

朝、港から川へもどる船、船音(立山連峰に向かうように帰る船)

船の音

船の音
(ギシギシ...)

漁船の
出入りの音

水からとびあがる
魚や、
おちる音

夜の静けさにひびく水の音、ふねの音

潮のにおい

潮のにおい

良い香りがする
川周辺

海の香が
する

海の香り

お店や家から漂う 食べ物のにおい

におい、けむり(焼物)(肉・魚屋)
・赤しそ(梅干)

もち屋の白い
水蒸気(蒸し
上がった)

おらんだ焼
甘いにおい

鐘の音

寺の鐘の音

寺の鐘の音

子供達の声

小、中学生の
登校、下校の
話し声

お祭りの匂い・音

お祭りの日の匂い
(料理、赤飯等)
(昔はした)

深夜まで鳴りひびくおはやし

お祭りの
臭いを残す

宮の太鼓の
音

消えゆく音・におい

香りににおいが
少なくなった

街の中から消え
行く音の復活

祭の賑わいと

祭りのにぎわいと

情景条例への問い

なぜ内川？

なんで
内川なのですか？

何故内川なの？ 射水の魅力は
内川に集約されているの？
生活と言う事を考えると
他でも良い？

内川だけでは語れません。

観光への モヤモヤ

内川は観光地？
暮らす人にとっ
て、何？

わざわざ暮らしたい
奇跡の湊町って？？

日本のベニスと
言われているがそもそも
そこをピックアップしたのは
どういう理由？ → 他では
だめなのか

情景条例の 必要性

内川に暮らす人
のメリットは何
ですか？

どんなニーズがありましたか？

新湊で生まれ育った
私には、そこが
解せません

内川の「景観」だけではなく 「暮らし」や「文化」をまもるための新しい条例を

「隣の人が家の情報を知っている」

「帰宅したら隣のおばちゃんが勝手に家にいる」

「学校帰りに隣の家味噌汁の匂いがする」

面倒だけど、内川さの暖かさがわかる暮らし

射水・内川の景色を編み出す「文化・生活・生業」の曼荼羅（マインドマップ） イメージ図



次回 8/19(水)
第二回内川まちの未来会議

「その風景を作っている
内川らしさってなんだろう？」



内川まちの未来会議

～残したい風景を未来へつなぐために、できることを考える～

第1回 7/13 月
14:00～16:00・18:30～20:30
内容は同一ですので、日中・夕方いずれかにご参加ください。
未来へつなごたい
内川の風景を見つけよう

第2回 8/19 水
14:00～16:00・18:30～20:30
内容は同一ですので、日中・夕方いずれかにご参加ください。
その風景をつくっている
内川らしさって何だろう？

第3回 10/6 火
14:00～16:00・18:30～20:30
内容は同一ですので、日中・夕方いずれかにご参加ください。
未来へつなぐために
できることを考えよう

会場 (全3回)
クロスベイ新渡 2階 ICNホール
射水市本町二丁目10番30号

参加費 無料
全3回
詳細は裏面を
チェック！▶

主催：射水市
企画運営：株式会社リノベリング